

西南学院と体育・スポーツ



西南学院小学校長 和佐野 健吾

1916年、西南学院男子中学校開設当時の日本における体育・スポーツの現状は、日清、日露の戦争の後遺症を受け、富国強兵の時代であった。日清戦争における台湾出兵は薩摩藩出身の勇猛屈強な兵士が選ばれ、日露戦争では南山の戦いで、軍事訓練を受けた4000名もの兵士が死傷したという記録が残っている。明治以降も軍国主義の影響は大きく、軍事教練の導入など、キリスト教主義の本学院においても影響は例外ではなかったと思われる。

文部省訓令12号（1899年）によるキリスト教学校への弾圧によって、体育やスポーツのみならず、私学の歩むべき道がゆがめられて来た歴史も忘れてはならないと思う。

日本における体育・スポーツの特徴は、学校教育を通して発展して来たことである。特にスポーツは放課後の課外活動として行われ、試合は学校対抗に重点が置かれ、個人より学校の名誉のためとして盛んになって来た。頂点に立つ日本代表選手の育成などは、学校と一部の企業スポーツによって支えられて来た。1964年、アジアで初めて日本で東京オリンピックが開催されたが、ほとんどの種目における歴然とした競技力の差は、日本人にとっては驚きであった。この事が日本の学校体育の在り方を見直すきっかけとなる。大会後、水泳競技において幼児からクラブでの指導体制を作る試みが始まり、最近になってようやく水泳競技で世界と肩を並べることが出来るようになった。東京オリンピック後、スポーツ強化が初めて学校を離れた一例である。

体育は「体操の授業」と呼ばれ、カリキュラムは体力の強化向上を目的とした集団的行動や、北欧の体操を取り入れた教練の内容が主流であった。それに対し欧米ではスポーツの要素を中心として、地域的なクラブを中心に社会体育として発展して来た。アメリカでは競技にシーズン制がとられ、学校チームは学校対抗、地域のチームは地域対抗試合などを行い、多くの地域の人々と共にスポーツが娯楽として発展していった。一方、欧州のスポーツは余り発展をしなかったのである。特にイギリスなどでは競技種目も少なく、フットボールなどの団体競技しか紳士のスポーツと認めなかったことにも関係があると思われる。試合時に審判がつくようになるのも遅く、欧州で生

まれた競技は基本的に1審制を取っている。紳士はフェアであることを前提として来たと思われる。米国生まれの競技は基本的に複審制を取っていた。また北欧における発展は、大きく気候が関係している。冬が長く、郊外での活動が制限され、自然に室内競技が発展をしていったと思われる。特にデンマーク、スウェーデン、ドイツなどでは体操が競技としてではなく、健康づくりのために奨励をされた歴史を持っている。

西南学院をはじめ、アメリカから多くの宣教師たちがやって来たプロテスタント系キリスト教学校は、早い時期に米国スポーツに対する考え方を取り入れることが出来た。しかし、ヨーロッパの流れから来たカトリック系の学校ではスポーツはほとんど発展を見なかったのである。第二次大戦後は学校を始め、警察でさえ柔剣道が禁止され、学校体育の在り方に大きな影響が出ることになった。ドイツにおいては、戦後、スポーツ・体育の復興に黄金計画を実施し、現在のスポーツ大国になった歴史を持っている。

創業者C.K.ドージャー先生は、かつて「日曜日問題」に端を発して西南学院を去ることになったが、先生は西南学院がスポーツで有名になることを望まず、精神的、霊的に一流になって欲しいと願われたと伝えられている。しかし、この「日曜日問題」は、日曜日が制定され、クリスチャンは教会へ行こうという、キリスト教界の動きの中に先生が身を置いておられたことやミッション会議の後押しを受けていたことも大きな影響を受けていると言われている。

しかし、キリスト教主義の本学院は米国南部バプテスト伝道局から送られて来る宣教師たちの語る神の言葉だけでなく、スポーツ文化も同時に伝えられた。当時、本学院は男子を中心とした教育を行っていたので、まだ、多くの学校が体育的種目を中心としている時期に、ラグビーや野球、バスケットボール、テニス、ヨット競技などのスポーツが取り入れられたのである。数多くの優勝を経験できたのも先進的にスポーツを受け入れる土壌があったからに相違はない。ドージャー先生が学院を去るきっかけとなった野球部の活躍や、バスケットボール部やハンドボール部、テニス部など、60年を超える伝統あるクラブが多数存在をしている。特に大学ラグビー部は、西日本の雄として全国に名を轟かせた。また最近では北京オリンピック日本代表を輩出したヨット部も古い伝統を守り続けている。

また、スポーツのみでなく体操を専門に学んだ卒業生の保健体育教師たちによって、「西南に体操あり」と言われるように、体操が高校の授業に段階的に取り入れられることになった。徒手体操を基本に、創作体操作りや体操発表などが盛んに行われた。最近では実施している学校も少なくなっているが「福岡県民体操」も西南学院高校の先生の手によって作られ普及した歴史を持っている。